

## 第5学年西組 国語科学習指導案

### 「自分の考えを発信しよう ―『「弱いロボット」だからできること』―」

学習指導者 西吉 亮二

#### 1 学習指導要領に示された本単元に関わる目標及び内容等

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。

ウ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。

オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

#### 2 メタ認知・教科に関する子供（34名）の実態

課題設定以前…授業の始めに、自分が分かっていることは何で、まだ分かっていないことは何かを考えていないと感じている。(13名)

課題解決中…授業の途中で、自分の考えと比べながら友達のことを聞いていると感じている。

(30名)

友達の考えを聞くことが大切だと感じている。(28名)

課題解決後…授業の終わりに、自分の考えがどんな風変わったかなと考えていないと感じている。

(12名)

### 3 目指す子供の姿

#### 【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

テクノロジーと人との関わりについて自分の考えを発信するために、言葉による見方・考え方を働かせながら、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。そして、まとめた考えやその理由を友達と交流することで自分の考えを再考し、記事の作成に生かしている。

本単元では、テクノロジーと人との関わりというテーマについての自分の考えを facebook（以下 FB）で発信するという言語活動を設定する。FB で投稿する記事には、読んだ文章や既存の知識を基にテクノロジーと人との関わりで大切なこと（10字程度のキーワード）と、そう考えた理由を書く。FB に投稿することで多くの子供たちが興味をもっている SNS（FB）の正しい使い方や便利さ、楽しさを知り、意欲的に言語活動に取り組めるだろう。記事をまとめるために、『「弱いロボット」だからできること』や『テクノロジーが見せる未来』を読み、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしていく。同じテーマについて書かれた二つの文章を読み、様々な考えがあることを捉えた上で、自分の考えをまとめていく。例えば「僕は、頼りすぎないことが大切だと思うよ。このまま頼り続けると人の必要性がなくなるからだよ。筆者が述べている『たがいに支え合う心地よい関係』という意味は、バランスを大切にすることだと思うよ」等のように自分の考えをまとめていく。そして、考えやその理由について交流する際には「私は『テクノロジーが見せる未来』で筆者が述べているように、高い技術を生み出し続けることが大切だと思うよ。それが、全ての人の生活を豊かにすると思うからだよ」「確かにそうだね。頼りすぎないことが大切だと思っていたけど、テクノロジーが進歩することで、体の不自由な人がしたいことを自由に挑戦できるようになるね」等、自分の考えをより納得できるものに修正したり、自信をもったりしていく。このように、交流して確かになった考えを FB の記事の作成に生かしていくのである。

### 4 単元計画（総時数 7時間）

単元の最初にテクノロジーの進歩についてインターネット等で調べ、テクノロジーがどんどん進歩していくことに対して、賛成かどうか考える。そして、テクノロジーの進歩に関する二つの文章を読んだ後の自分の考えと比較する場を複数回設定することで、考えの深まりや自信の高まりを感じられるようにする。

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>①② テクノロジーの進歩について知り、学習の計画を立てよう</p> <p>言語活動を設定し、学習計画を立てる。テクノロジーの進歩についてインターネット等で調べ、テクノロジーがどんどん進歩することに自分は賛成かどうか考える。</p>	<p>前②～⑦【学習プラン確認ボード】</p> <p>単元の導入で考えた学習計画と、テクノロジーの進歩に関する文章の要旨等の既習事項を補助黒板に位置付け、それを用いて課題設定の理由を説明させる。</p>
二	<p>③ 『テクノロジーが見せる未来』を読み、自分の考えをまとめよう</p> <p>『テクノロジーが見せる未来』を読み、テクノロジーと人との関わりについて自分の考えをまとめ、最初にもった考えと比較する。</p> <p>④⑤ 『「弱いロボット」だからできること』を読んで筆者の考えを捉えよう</p> <p>どのような事例を挙げているのか等に着目し、文章全体がどのように構成されているのかを正確に捉え、要旨を把握する。</p>	<p>中②③⑥【集まれキーワードタイム】</p> <p>自分の考えを短いキーワードにまとめ、ボードの矢印上に集約し、考えの異同を視覚的に捉えさせる。そして、考えとその理由について友達と交流する時間を設定する。</p>
三	<p>⑥ 『「弱いロボット」だからできること』に対する自分の考えをまとめよう（本時6/7）</p> <p>『「弱いロボット」だからできること』を読み、自分の考えをまとめる。また、これまでの自分の考えと比較し考えの深まりに気付いていく。</p> <p>⑦ 自分の考えを記事にまとめて、発信しよう</p> <p>自分の考えを記事にまとめ、単元を通した振り返りを行う。</p>	<p>後②～⑦【学習プラン振り返りタイム】</p> <p>分かったこととその理由、次の時間にしたいことをノートに記述したり、学習計画を見直し、修正したりする時間を設定する。</p>

5 本時の学習

目 標	『「弱いロボット」だからできること』等を読んで理解したことに基づいて、テクノロジーの進歩と人との関わりで大切だと思うことについて交流し、自分の考えをまとめることができる。
--------	---

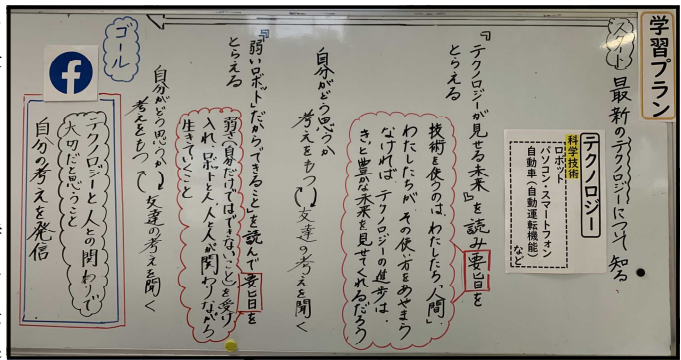
学習活動	主な子供の意識	
課題設定以前	1 学習課題を確認する。 【学習プラン確認ボード】	この学習では、テクノロジーと人との関わりについて自分が大切だと思うことをまとめてFBで発信することがゴールだったね。 前の時間は、『「弱いロボット」だからできること』を読んで要旨を考えたね。 今日は、読んだことを基に、テクノロジーと人との関わりで大切だと思うことをまとめるんだったね。
	『「弱いロボット」だからできること』に対する自分の考えをまとめよう	
課題解決中	2 自分の考えをキーワードでまとめる。	筆者の岡田さんは、テクノロジーと人との関わりで大切なことは「弱さを受け入れ、互いに支え合う」ことだと考えていたよ。 岡田さんの考えとは違って高性能なものは必要で、大切なのは、それを「正しく使いこなす」ことだと思う。
	3 まとめた考えを交流し、再考する。 【集まれキーワードタイム】	他の人はどんな考えをもったのかな。 「頼りすぎない」というのは、岡田さんが心地よい関係が大切だと言っているように、困った時に、ドラえもんみたいななんでも助けてくれるロボットがいたら、自分で解決しようと思わなくなってしまうからだよ。 テクノロジーは生活を便利にする道具だと思っていたけれど、そうではなく、頼りすぎずにパートナー的な存在になっていくのがいいのかな。 最初は、「正しく使いこなす」ことだと思ったけれど、友達の考えを聞いて「支え合うパートナー」のような関係を築くことが大切だと思ったよ。
		「頼りすぎない」というのは、岡田さんが心地よい関係が大切だと言っているように、困った時に、ドラえもんみたいななんでも助けてくれるロボットがいたら、自分で解決しようと思わなくなってしまうからだよ。 テクノロジーに頼る部分はどこまでかを考えないといけないね。使う人が、何に気を付けるかで、テクノロジーとの未来が決まっていくと思うよ。 やっぱり、テクノロジーと人との関わりで大切にしないといけないことは、テクノロジーに「頼りすぎない」ということだと思うよ。
		友達の考えを聞いて、自分の考えがまとまったよ。
課題解決後	4 本時の学習を振り返る。 【学習プラン振り返りタイム】	〇〇さんの考えを聞いたことで、自分の考えがより納得できる考えに変わったよ。 今日は、テクノロジーと人の関わりについて、自分の考えがまとめられたから、次は、この考えをFBに投稿する記事にまとめたいな。

評 価	テクノロジーと人との関わりで大切だと思うことについて、既存の知識や文章を読んで理解した内容と結び付けて考えをまとめ、まとめたことを友達と交流し、自分の考えを再考している。 【方法：発言・様相・記述】
--------	--

6 働きかけの詳細

～課題設定以前～ **学習活動1** 【学習プラン確認ボード】（2～7時間）

単元の導入の際に学習計画を子供たちと共に考える。その計画と『テクノロジーが見せる未来』や『「弱いロボット」だからできること』の要旨等を補助黒板に掲示し、本時までの学習を振り返ることができるようにしておく。



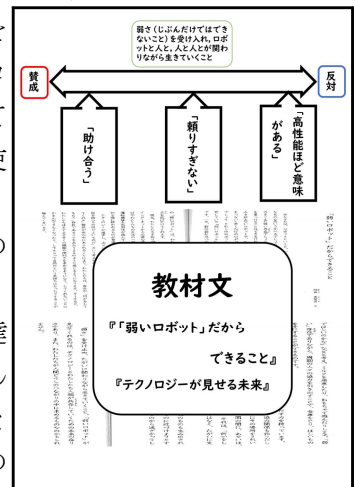
【学習プラン確認ボード】

本時は、まず、前時までにできたことと本時取り組む課題を確認する。そして、単元のゴールと課題とのつながりを問い、補助黒板に掲示した学習計画や既習事項を基に、「テクノロジーの進歩と人との関わりについて大切だと考えたことをFBで発信するために、前の時間には『「弱いロボット」だからできること』を読んだから、今日は読んだことを基に自分の考えをまとめていく」などと説明させる。そうすることで子供たちが本時の課題に取り組む意味を理解し、課題の妥当性を感じながら学習に向かえるようにする。

～課題解決中～ **学習活動2** **学習活動3** 【集まれキーワードタイム】（2, 3, 6時間）

テクノロジーと人との関わりについて、自分の考えをまとめるために、まず筆者の岡田さんの考えに対して自分は賛成かどうかという視点で考えるよう助言する。筆者は『弱さを受け入れ、互いに支え合うこと』が大切だと考えているが、自分は何が大切だと考えるのかを10字程度の短いキーワードにまとめていく。その際、これまでに読んだ文章で納得したことや、これまでの生活経験を基に考えればよいことを全体で確認してから、キーワードをカードに記述させるようにする。

友達と考えを交流する際には、キーワードを書いたカードをグループ（3, 4人）で1枚のボードに集約するようにする。自分の考えが筆者の考えに賛成かどうかを矢印上の位置で表せるようにする。このボードには、教材文『「弱いロボット」だからできること』、『テクノロジーが見せる未来』を貼っておき、考えの理由を説明する際に本文を指し示す等、必要に応じて使えるようにしておく。



【キーワードボード】

本時では、岡田さんの考えに賛成かどうかを矢印上に示し、友達の考えとの異同が視覚的に捉えられるようにすることで、子供たちは、友達の考えやその理由について意欲的に聞き合っていくだろう。友達に理由を説明する際には、ボードに貼っている教材文を使って、読んで理解したことを基にしながら説明することを確認しておく。友達と交流していく中で、考えやその理由が強化・付加されることで自分の考えに自信をつけたり、友達の考えやその理由に納得して、自分の考えを修正したりしていくのである。

～課題解決後～ **学習活動4** 【学習プラン振り返りタイム】（2～7時間）

振り返りでは、できたこと・分かったこととその理由、次の時間にしたいことの観点でノートに記述させる。その際に、本時の学習を通して考えの深まりを感じていない子供については、自分の考えが変わらなかったことにも価値があることを伝える。次にチャレンジしたいことについては、学習計画の修正が必要かどうか全員で吟味する。そこで「別のグループの友達の考えも聞きたい」等、本時の学習の成果に照らし合わせて見いだされたものについては、補助黒板の計画に付け足すようにし、次時の学習内容として取り上げる。そうすることで、本時の学習内容に基づいた振り返りを行うことが次時の学習に生きてくるという振り返りを行うことの価値の理解や実感につなげていきたい。

